

令和2年度
事業概況報告書

〔 自 令和2年 1月 1日 〕
〔 至 令和2年 12月 31日 〕

公益財団法人 全国競馬・畜産振興会

I 法人の概況

1. 設立年月日

平成 3年10月22日 財団法人設立
平成25年 8月 1日 公益財団法人設立

2. 定款に定める目的

振興会は、国及び地方公共団体等の畜産振興施策と相まって、民間における自主的な畜産振興に資するための事業並びに営農環境の確保を図るための事業、農林畜水産業に関する研究開発に係る事業及び競馬の健全な発展を図るための事業であって畜産の振興に資すると認められるものについての助成及び調査研究等を行うことにより我が国の畜産業の発展に寄与することを目的とする。

3. 定款に定める事業内容

(1) 次に掲げる事業に対する助成

- イ 畜産の経営又は技術の指導の事業
- ロ 肉用牛の生産の合理化のための事業
- ハ 生乳の生産の合理化のための事業
- ニ 家畜衛生の向上のための事業
- ホ 畜産の技術の研究開発に係る事業
- ヘ 畜産に係る公害の防止及び自然環境の保全のための事業
- ト 農村地域における良好な生活環境を確保するための施設の整備その他の営農環境の確保を図るための事業又は農林畜水産業に関する研究開発に係る事業であって畜産の振興に資すると認められるもの
- チ 競馬の健全な発展を図るための事業であって畜産の振興に資すると認められるもの

(2) 民間における畜産振興のための取組みに関する情報の提供

(3) 畜産振興施策に関する調査研究

(4) その他振興会の目的を達成するために必要な事業

4. 所管官庁に関する事項

内閣府 大臣官房 公益法人行政担当室

5. 主たる事務所の所在地

東京都港区新橋四丁目5番4号

6. 役員に関する事項

(令和2年12月31日現在)

役 職	氏 名	勤 務	就任年月日	退任年月日 (本年度退任者及び 退任年月日)
会 長	小西 敏之	常 勤	令和2年3月19日	齊藤 茂 令和2年3月18日
常務理事	江口 洋一郎	常 勤	平成27年3月11日	
理 事	大井 俊雄	非常勤	平成25年8月1日	
理 事	大野 良三	非常勤	平成29年3月15日	
理 事	星野 年彦	非常勤	平成31年3月13日	
監 事	平野 浩章	非常勤	平成30年3月14日	
監 事	山田 隆雄	非常勤	平成31年3月13日	

7. 評議員に関する事項

(令和2年12月31日現在)

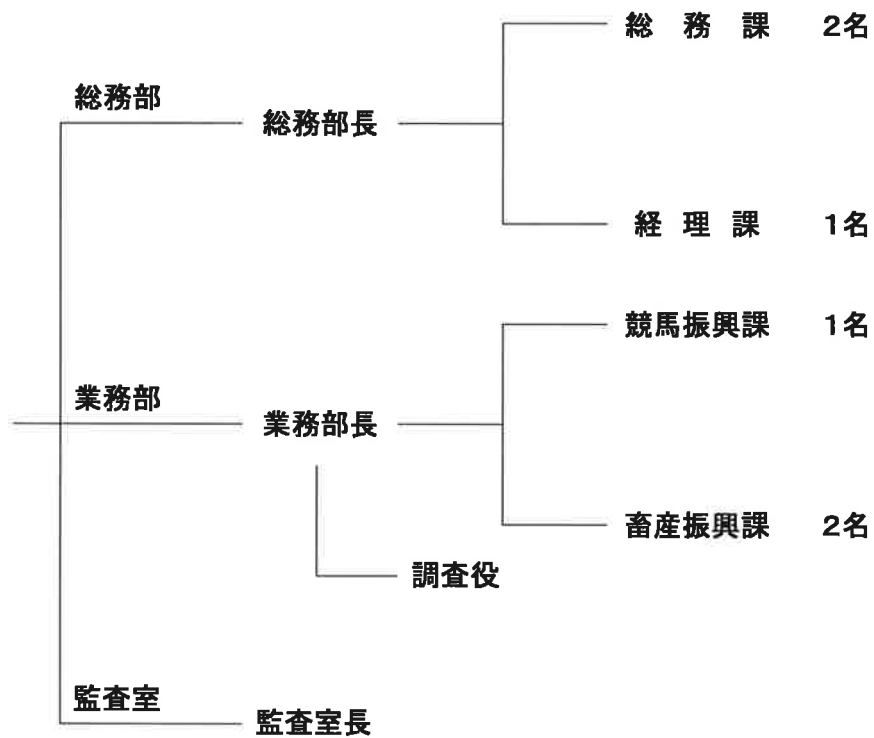
氏 名	就任年月日	退任年月日 (本年度退任者及び退任年月日)
有吉 正徳	平成25年8月1日	
岡本 金彌	平成25年8月1日	
北池 隆	平成30年12月5日	
松本 有幸	平成25年8月1日	
山崎 毅紀	平成29年3月15日	
吉田 正義	平成31年4月10日	

8. 職員に関する事項

(令和2年12月31日現在)

職員数		今期増減
男 子	6名	0名
女 子	4名	0名
合 計	10名	0名

職員は10名で、組織別人員は次のとおりである。



II 事業の実施状況

第1 公益目的事業

1. 民間における畜産振興事業等への助成、業務監査及び評価

振興会は、次の①～⑨に掲げる事業について日本中央競馬会畜産振興事業に係る交付金交付法人（以下「特定法人」という。）として助成業務等を行った。

- ① 畜産の経営又は技術の指導の事業
- ② 肉用牛の生産の合理化のための事業
- ③ 生乳の生産の合理化のための事業
- ④ 家畜衛生の向上のための事業
- ⑤ 畜産の技術の研究開発に係る事業
- ⑥ 畜産に係る公害の防止及び自然環境の保全のための事業
- ⑦ 農村地域における良好な生活環境を確保するための施設の整備その他の営農環境の確保を図るための事業又は農林畜水産業に関する研究開発に係る事業であって畜産の振興に資すると認められるもの
- ⑧ 競馬の健全な発展を図るための事業であって畜産の振興に資すると認められるもの
- ⑨ その他振興会の目的を達成するために必要な事業

令和2年度新規事業の公募については、令和元年10月30日から12月19日の期間に受付け、日本中央競馬会の審査委員会を経て令和2年3月25日に59件38億6千9百万円余の事業が認可された。

これらの事業に対し、実施要領等に基づき適切に事業が実施されるよう実施主体を支援し、実施計画に基づき助成金を交付した。

令和元年度までに採択された継続事業については、進捗状況の報告を求めるとともに事業の達成目標等を確認し、所要の助成金を交付した。変更を要する場合には、事情を聴取確認し、関係機関と協議のうえ適切に対応した。

最終事業年度を迎えた事業については、実施主体が提出した実施成果の報告をとりまとめるとともに、主な事業について畜産振興事業の適正性を確保するための監査を行った。全ての終了事業について成果の自己評価をとりまとめて日本中央競馬会に報告した。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、実施計画の審査、監査等、これまで実施主体と対面方式で行ってきた業務については、オンライン及び書面方式で実施した。

なお、令和2年度における助成対象事業の概要は別表のとおりである。

2. 振興会が行う調査研究等

これまでに助成した畜産振興事業のうち、特に成果が優れ、普及性が高い取り組み事例や試験研究について、畜産業界のみならず広く国民一般を対象として調査研究発表会を東京大学農学部弥生講堂一条ホールで例年開催してきたが、本年度は新型コロナウイルス感染症に対応するため、10月8日13時より振興会ホームページから視聴できる形（オンデマンド方式）で研究発表会を開催した。併せて、発表にかかる成果集100部とパンフレット250部を発行し、無償で配布するとともに、振興会ホームページにも同じ内容を掲載して、成果の概要等の普及に努めた。また、国等における畜産振興施策等に関する調査を行い、振興会の事業全体の適切な実施に資するための基礎資料等として活用した。

別紙：助成金の交付計画（概要）

1. 公益目的事業（畜産振興事業）

(1) 新規事業

(単位：年度、千円)

No	事業名 [実施主体]	事業期間	令和2年度 交付額(総額)	定款4条1 項の分類
1	国産豚で作る生ハム認証基準制定・普及事業 [一般社団法人 国産生ハム普及協会]	R2-R3 (2年)	17,184 (31,654)	1号 イ 技術支援
2	北海道和種を代理母にして高付加価値生産の確立事業 [岩手ふるさと農業協同組合]	R2-R4 (3年)	3,519 (10,364)	1号 イ 技術支援
3	ジビエ利用促進畜産物生産環境保全・安全確保推進事業 [公益財団法人 日本食肉消費総合センター]	R2	32,028	1号 イ 技術支援
4	自然災害に強い畜産経営の実現調査事業 [一般社団法人 全日本畜産経営者協会]	R2-R3 (2年)	5,242 (11,425)	1号 イ 経営支援
5	障がい者養蜂での労働環境創出調査研究事業 [一般社団法人 トウヨウミツバチ協会]	R2-R3 (2年)	16,627 (31,792)	1号 イ 経営支援
6	混合発酵飼料を用いた羊肉生産実証事業 [公益社団法人 畜産技術協会]	R2-R4 (3年)	15,820 (48,410)	1号 イ 経営支援
7	初生ひな鑑別師養成・鑑別技術向上事業 [公益社団法人 畜産技術協会]	R2-R3 (2年)	12,339 (29,011)	1号 イ 技術支援
8	食肉流通HACCP推進事業 [全国食肉事業協同組合連合会]	R2-R4 (3年)	55,935 (163,854)	1号 イ 経営支援
9	シェフと伝える持続型畜産確立事業 [一般社団法人 全日本・食学会]	R2-R3 (2年)	11,443 (23,575)	1号 イ 経営支援
10	スマート畜産海外先進モデル調査事業 [公益社団法人 畜産技術協会]	R2-R3 (2年)	7,351 (18,505)	1号 イ 経営支援
11	原発事故被災地での飼料生産促進事業 [立野連絡協議会]	R2	19,648	1号 イ 技術支援
12	国産牛肉の差別化・競争力強化対応調査事業 [公益社団法人 日本食肉格付協会]	R2-R4 (3年)	31,808 (91,829)	1号 イ 技術支援
13	肉用牛の高度生産体系確立・普及事業 [一般社団法人 家畜改良事業団]	R2-R4 (3年)	27,805 (88,344)	1号 ロ 肉牛支援
14	和牛経産牛肉の機能性成分等分析事業 [一般社団法人 全国肉用牛振興基金協会]	R2-R4 (3年)	20,450 (66,911)	1号 ロ 肉牛支援
15	和牛の地域特性活用ゲノム選抜定着化事業 [公益社団法人 畜産技術協会]	R2-R4 (3年)	39,187 (118,677)	1号 ロ 肉牛支援
16	酪農家の働き方改革簡易診断解決ツール開発事業 [公益財団法人 日本生産性本部]	R2	11,612	1号 ハ 酪農支援
17	乳・乳製品の官能評価員能力向上・認定事業 [公益財団法人 日本乳業技術協会]	R2-R4 (3年)	12,808 (44,647)	1号 ハ 酪農支援
18	新たな食肉産地モデル形成に向けた調査研究事業 [根釧酪農畜産振興会]	R2-R4 (3年)	11,411 (39,416)	1号 ハ 酪農支援
19	酪農における飼養管理改善対策事業 [乳用牛群検定全国協議会]	R2-R4 (3年)	36,186 (98,971)	1号 ハ 酪農支援
20	馬伝染性子宮炎自衛防疫普及促進事業 [公益社団法人 日本軽種馬協会]	R2-R4 (3年)	12,688 (38,521)	1号 ニ 家畜衛生
21	乗用馬防疫推進事業 [公益社団法人 全国乗馬倶楽部振興協会]	R2	36,144	1号 ニ 家畜衛生
22	大学連携による家畜防疫に関する知の集積 [国立大学法人 宮崎大学]	R2-R3 (2年)	13,098 (25,904)	1号 ニ 家畜衛生

No	事業名 [実施主体]	事業期間	令和2年度 交付額(総額)	定款4条1 項の分類
23	蜜蜂のダニ寄生とウイルス感染率の実態調査事業 [一般社団法人 日本養蜂協会]	R2	3,906	1号 ニ 家畜衛生
24	産業動物臨床分野卒業後教育モデルカリキュラムの実証事業 [国立大学法人 宮崎大学]	R2-R3 (2年)	3,855 (7,801)	1号 ニ 家畜衛生
25	アジア地域臨床獣医師等総合研修及びネットワーク構築事業 [公益社団法人 日本獣医師会]	R2-R4 (3年)	58,747 (266,126)	1号 ニ 家畜衛生
26	産業動物女性獣医師の活動推進事業 [国立大学法人 宮崎大学]	R2	1,409	1号 ニ 家畜衛生
27	野生獣衛生推進体制促進事業 [家畜衛生対策推進協議会]	R2-R4 (3年)	47,772 (145,698)	1号 ニ 家畜衛生
28	馬伝染性疾病防疫推進対策事業 [公益社団法人 中央畜産会]	R2	204,187	1号 ニ 家畜衛生
29	馬飼養衛生管理特別対策事業 [公益社団法人 中央畜産会]	R2	46,089	1号 ニ 家畜衛生
30	臨床獣医師防疫体制強化事業 [公益社団法人 中央畜産会]	R2-R4 (3年)	46,150 (138,450)	1号 ニ 家畜衛生
31	地域豚疾病低減対策強化事業 [公益社団法人 中央畜産会]	R2-R3 (2年)	102,277 (235,438)	1号 ニ 家畜衛生
32	飼養衛生管理徹底等による養豚産業基盤強化事業 [一般社団法人 養豚協会]	R2-R4 (3年)	13,164 (42,195)	1号 ニ 家畜衛生
33	乳用牛生産性長命連産性の遺伝改良研究事業 [一般社団法人 日本ホルスタイン登録協会]	R2-R4 (3年)	28,318 (101,128)	1号 ホ 研究開発
34	牛乳房炎に対する乳汁移植技術開発事業 [学校法人 麻布獣医学園 麻布大学]	R2-R4 (3年)	14,723 (36,735)	1号 ホ 研究開発
35	スマート都市養蜂システムの研究開発事業 [国立大学法人 電気通信大学]	R2-R3 (2年)	3,962 (7,668)	1号 ホ 研究開発
36	牛呼吸器病症候群制御のための事業 [国立大学法人 東京大学]	R2-R4 (3年)	11,016 (33,354)	1号 ホ 研究開発
37	人工知能による牛体外受精卵の自動評価事業 [国立大学法人 東京農工大学]	R2-R4 (3年)	31,274 (96,039)	1号 ホ 研究開発
38	乳牛の乳房炎発症予防手法開発事業 [国立大学法人 東北大学]	R2-R4 (3年)	38,918 (117,120)	1号 ホ 研究開発
39	牛ガラス化胚の新規移植法開発・実用化事業 [学校法人 北里研究所 北里大学]	R2-R4 (3年)	10,645 (33,823)	1号 ホ 研究開発
40	牛体外受精胚の高品質化技術開発事業 [国立大学法人 岩手大学]	R2-R4 (3年)	16,338 (44,758)	1号 ホ 研究開発
41	画像診断に基づいた牛の蹄形および削蹄法に関する研究事業 [国立大学法人 岩手大学]	R2-R3 (2年)	8,371 (16,534)	1号 ホ 研究開発
42	生殖器奇形原因遺伝子保因牛の鑑別と淘汰技術開発事業 [国立大学法人 東京大学]	R2-R3 (2年)	12,740 (28,587)	1号 ホ 研究開発
43	蜜蜂飼料(代用花粉エコフィード)の開発事業 [大阪府立 園芸高等学校]	R2	3,450	1号 ホ 研究開発
44	放牧地温暖化影響評価モデル構築事業 [国立大学法人 北海道大学]	R2-R3 (2年)	23,247 (42,630)	1号 ホ 研究開発
45	豚呼吸器病早期発見のためのAI耳標センサ研究開発事業 [公立大学法人 広島市立大学]	R2-R4 (3年)	15,111 (47,133)	1号 ホ 研究開発
46	和牛受精卵生産管理システム開発事業 [全国農業協同組合連合会]	R2-R3 (2年)	21,170 (29,418)	1号 ホ 研究開発

No	事業名 [実施主体]	事業期間	令和2年度 交付額(総額)	定款4条1 項の分類
47	マイクロ波食肉製品異物検出装置研究開発事業 [食肉生産技術研究組合]	R2-R3 (2年)	26,388 (64,447)	1号 ホ 研究開発
48	ウシMHC領域インピュテーション法の開発事業 [学校法人 十文字学園女子大学]	R2-R3 (2年)	30,939 (76,890)	1号 ホ 研究開発
49	黒毛和牛の魅力創出技術の構築事業 [国立大学法人 神戸大学]	R2-R3 (2年)	5,396 (12,158)	1号 ホ 研究開発
50	受精卵による障がい者乗用馬等の生産法確立事業 [国立大学法人 帯広畜産大学]	R2-R4 (3年)	32,381 (100,546)	1号 ホ 研究開発
51	免疫活性化で受胎性を高める牛受精卵移植法事業 [国立大学法人 帯広畜産大学]	R2-R4 (3年)	34,945 (96,709)	1号 ホ 研究開発
52	牛乳の異臭成分発生防御に関する研究事業 [学校法人渡辺学園 東京家政大学]	R2	3,948	1号 ホ 研究開発
53	電子指示書を用いた豚群衛生管理の実証試験事業 [国立大学法人 東京大学]	R2-R4 (3年)	25,486 (90,942)	1号 ホ 研究開発
54	黒毛和種の強化ゲノム情報の改善・活用事業 [公益社団法人 畜産技術協会]	R2-R4 (3年)	49,106 (148,024)	1号 ホ 研究開発
55	すす紋病抵抗性品種選抜マーカー開発事業 [一般社団法人 日本草地畜産種子協会]	R2-R4 (3年)	18,124 (54,404)	1号 ホ 研究開発
56	安定多収・環境耐性ライグラス品種開発事業 [一般社団法人 日本草地畜産種子協会]	R2-R4 (3年)	42,610 (132,026)	1号 ホ 研究開発
57	飼養技術の最適化と消費者評価による国産豚肉の競争力強化事業 [学校法人 近畿大学]	R2-R4 (3年)	18,087 (66,646)	1号 ホ 研究開発
58	混合堆肥の利用拡大普及事業 [一般財団法人 畜産環境整備機構]	R2-R4 (3年)	24,261 (97,209)	1号 へ 畜産環境
59	畜産臭気の不快感軽減技術開発普及事業 [一般財団法人 畜産環境整備機構]	R2-R4 (3年)	37,283 (114,889)	1号 へ 畜産環境
1-(1). 公益目的事業 (公1 畜産振興事業) 新規事業 計		交付 59件	1,566,126千円 事業主体への助成交付金	
(日本中央競馬会から新たに交付される預り補助金			3,869,756 千円)	

(2) 前年度からの継続事業

(単位：年度、千円)

No	事業名 [実施主体]	事業期間	令和2年度 交付額	定款4条1 項の分類
1	畜舎汚水の発生・浄化における軽労型窒素低減システムの開発・普及事業 [(一財)畜産環境整備機構]	H30-R2	25,651	1号へ 畜産環境
2	馬飼養農場における飼養管理技術革新事業 [国立大学法人鹿児島大学]	H30-R2	39,948	1号ホ 研究開発
3	畜産女性経営者育成強化事業 [(公社)中央畜産会]	H30-R2	31,664	1号イ 経営支援
4	畜産現場における障がい者雇用促進支援事業 [(公社)中央畜産会]	H30-R2	18,840	1号イ 経営支援
5	薬剤耐性(AMR)に配慮した牛肺炎に対する抗菌薬療法確立事業 [国立大学法人鹿児島大学]	H30-R2	5,238	1号ニ 家畜衛生
6	牛白血病感染・発症抵抗性牛の指標開発事業 [国立大学法人東京大学]	H30-R2	19,800	1号ホ 研究開発
7	生乳と乳製品の安全性・信頼確保支援事業 [(公財)日本乳業技術協会]	H30-R2	17,003	1号ハ 酪農支援
8	国産食肉理解醸成食育推進事業 [全国食肉事業協同組合連合会]	H30-R2	83,598	1号イ 経営支援
9	子実用とうもろこし等農薬安全性調査事業 [(一社)日本草地畜産種子協会]	H30-R2	34,829	1号イ 経営支援
10	豚枝肉脂質判定技術開発調査事業 [(公社)日本食肉格付協会]	H30-R2	6,932	1号イ 技術支援
11	牛肉のうま味成分高付加価値化推進調査研究事業 [(一社)全国肉用牛振興基金協会]	H30-R2	25,973	1号ロ 肉牛支援
12	Wagyu肉生産・流通等実態調査事業 [(公社)畜産技術協会]	H30-R2	6,410	1号ロ 肉牛支援
13	畜産の高度化に向けた映像情報提供事業 [(公社)中央畜産会]	H30-R2	42,607	1号イ 経営支援
14	生乳の異常風味発生に対する対策事業 [国立大学法人北海道大学]	H30-R2	4,650	1号ホ 研究開発
15	哺乳子牛と搾乳牛のトレーサビリティの高度化事業 [学校法人東京理科大学]	H30-R2	35,250	1号ホ 研究開発
16	ブタの精液・受精卵の高度保存技術開発事業 [国立大学法人鹿児島大学]	H30-R2	33,840	1号ホ 研究開発
17	豚の抗病性向上手法開発事業 [国立大学法人東北大学]	H30-R2	25,391	1号ホ 研究開発
18	腸内環境改善による畜産物の高付加価値化事業 [国立大学法人千葉大学]	H30-R2	3,581	1号ホ 研究開発
19	製紙副産物を活用した馬関節炎治療薬の開発事業 [国立大学法人北海道大学]	H30-R2	23,073	1号ホ 研究開発
20	免疫去勢による国産豚国際競争力強化事業 [国立大学法人宮崎大学]	H30-R2	23,544	1号ホ 研究開発
21	家畜下痢症の感染抑制のための事業 [国立大学法人帯広畜産大学]	H30-R2	11,742	1号ホ 研究開発
22	家畜疾病、自然災害緊急支援体制確保事業 [畜産経営支援協議会]	H30-R2	16,621	1号ニ 家畜衛生
23	地鶏の鳥インフルエンザウイルス感受性研究事業 [国立大学法人鹿児島大学]	H30-R2	21,805	1号ホ 研究開発
24	家畜感染症検査における精度管理体制確立のための基盤整備事業 [(一財)生物科学安全研究所]	H30-R2	9,198	1号ニ 家畜衛生

No	事業名 [実施主体]	事業期間	令和2年度 交付額	定款4条1 項の分類
25	アジア地域臨床獣医師等総合研修事業 [(公社)日本獣医師会]	H30-R2	125,728	1号 ニ 家畜衛生
26	北海道東部地域の土壌凍結地帯におけるペレニアル ライグラスによる草地簡易更新技術確立事業 [国立大学法人北海道大学]	H30-R2	3,917	1号 ホ 研究開発
27	有機子実とうもろこしの栽培法確立と調査分析 研究事業 [津別町農業協同組合]	H30-R2	1,168	1号 イ 経営支援
28	和牛の担い手高度化支援強化事業 [(一社)岡山県畜産協会]	H30-R2	2,536	1号 イ 経営支援
29	孵化場体質強化推進事業 [(一社)日本種鶏孵卵協会]	H30-R2	3,706	1号 イ 経営支援
30	肉用牛ゲノム情報活用推進事業 [(一社)家畜改良事業団]	H30-R2	30,317	1号 ロ 肉牛支援
31	人工授精普及定着化事業 [(公社)日本馬事協会]	H30-R2	15,031	1号 イ 経営支援
32	精子発現遺伝子による雌雄産み分け法開発事業 [国立大学法人広島大学]	H30-R2	27,720	1号 ホ 研究開発
33	牛肉のおいしさ評価技術高度化研究開発事業 [(一社)家畜改良事業団]	H30-R2	21,145	1号 ホ 研究開発
34	若齢種雄牛精液の高度生産技術開発事業 [(一社)家畜改良事業団]	H30-R2	16,740	1号 ホ 研究開発
35	早期牛乳房炎の診断技術開発事業 [国立大学法人東京大学]	H30-R2	10,883	1号 ホ 研究開発
36	乳牛削蹄技術安定化事業 [(公社)日本装削蹄協会]	H30-R2	17,564	1号 ニ 家畜衛生
37	乳用牛供用期間延長のための新規技術開発事業 [学校法人東京農業大学]	H30-R2	21,226	1号 ホ 研究開発
38	馬の流通に係る若手後継者の育成調教技術向上 推進事業 [(公社)全国乗馬倶楽部振興協会]	H30-R2	3,150	1号 イ 技術指導
39	乳房炎高発牛の鑑別技術開発事業 [国立大学法人東京農工大学]	H31-R3	20,179	1号 ホ 研究開発
40	高泌乳牛の飼養・繁殖管理技術の高度化事業 [学校法人東京理科大学]	H31-R3	32,996	1号 ホ 研究開発
41	子牛への糞便移植の技術基盤形成と疾病制御事業 [国立大学法人東北大学]	H31-R3	18,960	1号 ホ 研究開発
42	感染子牛育成センターを利用した地域で持続可能な 牛白血病清浄化モデル開発事業 [国立大学法人岩手大学]	H31-R3	29,751	1号 ホ 研究開発
43	遺伝子型を利用した子牛損耗等防止対策事業 [(一社)家畜改良事業団]	H31-R3	30,253	1号 ロ 肉牛支援
44	豚レンサ球菌感染の新規迅速診断法の開発事業 [国立大学法人京都大学]	H31-R2	19,938	1号 ホ 研究開発
45	豚における抗菌剤慎重使用のための病性鑑定事業 [学校法人麻布獣医学園麻布大学]	H31-R3	6,012	1号 ニ 家畜衛生
46	家畜防疫・衛生指導対策事業 [(公社)中央畜産会]	H31-R3	359,460	1号 ニ 家畜衛生
47	適切な資材での消毒による飼養衛生対策強化事業 [国立大学法人東京農工大学]	H31-R3	3,980	1号 ニ 家畜衛生
48	繁殖エリート種雄牛作出技術開発事業 [(一社)家畜改良事業団]	H31-R3	30,189	1号 ホ 研究開発

No	事業名 [実施主体]	事業期間	令和2年度 交付額	定款4条1 項の分類
49	アミノ酸プロファイルによる不受胎牛の判別事業 [学校法人東海大学]	H31-R3	18,430	1号 ホ 研究開発
50	低侵襲・簡易迅速な牛の早期妊娠判定技術開発事業 [国立大学法人北海道大学]	H31-R3	16,996	1号 ホ 研究開発
51	乳牛の分娩間隔短縮のための技術開発事業 [国立大学法人北海道大学]	H31-R3	13,128	1号 ホ 研究開発
52	ウシの妊孕性向上システムの創出事業 [公立大学法人宮城大学]	H31-R3	23,866	1号 ホ 研究開発
53	牛繁殖基盤強化技術向上特別事業 [(一社)日本家畜人工授精師協会]	H31-R3	13,024	1号 ロ 肉牛支援
54	肉用牛産肉形質のA I 生体評価法の現場実装事業 [学校法人近畿大学]	H31-R3	28,716	1号 ホ 研究開発
55	日本短角種の高品質赤肉生産開発事業 [国立大学法人東北大学]	H31-R3	15,199	1号 ホ 研究開発
56	牛耳介チップの遺伝子解析による生産性向上事業 [国立大学法人鹿児島大学]	H31-R3	0	1号 ホ 研究開発
57	肉用牛の生産性評価精度向上推進事業 [(公社)全国和牛登録協会]	H31-R3	14,208	1号 ロ 肉牛支援
58	乳用牛ゲノミック情報利活用促進事業 [(一社)家畜改良事業団]	H31-R3	17,627	1号 ロ 肉牛支援
59	豚肉の理化学特性解析と飼料による高品質化事業 [国立大学法人新潟大学]	H31-R2	3,962	1号 ホ 研究開発
60	海外・国産豚肉肉質評価等推進事業 [(一社)食肉科学技術研究所]	H31-R2	12,130	1号 イ 経営支援
61	国産食肉加工品国際競争力強化対策事業 [日本ハム・ソーセイジ工業協同組合]	H31-R2	37,621	1号 イ 経営支援
62	地鶏普及推進事業 [(一社)日本食鳥協会]	H31-R3	25,240	1号 イ 経営支援
63	畜産環境対策技術総合設計基準調査普及事業 [(一財)畜産環境整備機構]	H31-R3	34,086	1号 ヘ 畜産環境
64	食肉輸出の食肉処理技術等マニュアル作成事業 [(公財)日本食肉生産技術開発センター]	H31-R2	5,190	1号 イ 経営支援
65	畜産経営雇用促進調査事業 [(一社)全日本畜産経営者協会]	H31-R2	5,161	1号 イ 経営支援
66	中小規模畜産経営ICT化支援事業 [(公社)畜産技術協会]	H31-R3	5,043	1号 ロ 肉牛支援
67	乳牛預託保育・育成牧場の飼養管理実態調査事業 [国立大学法人北海道大学]	H31-R3	11,908	1号 ロ 肉牛支援
68	放牧畜産物生産普及推進事業 [(一社)日本草地畜産種子協会]	H31-R3	33,510	1号 イ 経営支援
69	未来の畜産女子育成プロジェクト [(公社)国際農業者交流協会]	H31-R3	23,392	1号 イ 経営支援
70	未出穂型ソルガムの寒冷地栽培・利用事業 [国立大学法人信州大学]	H31-R3	2,457	1号 ホ 研究開発
71	昆虫タンパク質を代替原料に用いた鶏用飼料の有用 性評価事業 [国立大学法人香川大学]	H31-R2	3,960	1号 ホ 研究開発

No	事業名 [実施主体]	事業期間	令和2年度 交付額	定款4条1 項の分類
72	四倍体飼料用イネの開発事業 [国立大学法人北海道大学]	H31-R3	4,000	1号 ホ 研究開発
73	高タンパク飼料用稲調査事業 [(一社)日本草地畜産種子協会]	H31-R3	36,350	1号 イ 経営支援
74	持続的TMRセンター体制モデル検討事業 [公立大学法人秋田県立大学]	H31-R3	2,475	1号 ホ 研究開発
75	輸入飼料原料工程管理高度化事業 [協同組合日本飼料工業会]	H31-R2	13,580	1号 イ 経営支援
76	農耕馬のホースワーク可能性に関する実証事業 [公立大学法人岩手県立大学]	H31-R2	4,204	1号 へ 畜産環境
77	在来馬等の里山での活用に向けた育成事業 [(一社)馬搬振興会]	H31-R2	5,548	1号 イ 経営支援
78	引退馬のQOL向上のための動物福祉事業 [国立大学法人鹿児島大学]	H31-R3	9,420	1号 ニ 家畜衛生
79	東日本大震災被災地飼養馬の福祉向上事業 [国立大学法人鹿児島大学]	H31-R2	5,345	1号 ニ 家畜衛生
80	鼻疽菌潜伏感染馬の摘発に向けた新規血清診断法の 開発事業 [国立大学法人北海道大学]	H31-R2	3,420	1号 ホ 研究開発
81	AWに配慮した家畜輸送等指針普及事業 [(公社)畜産技術協会]	H31-R2	7,213	1号 イ 経営支援
82	AWの科学的評価法確立と実証拠点農場構築事業 [(公財)農村更生協会]	H31-R3	14,845	1号 イ 経営支援
83	めん羊・山羊の種畜生産供給体制整備事業 [(公社)畜産技術協会]	H31-R3	6,300	1号 イ 経営支援
84	畜産物によるアレルギー低減のための技術開発普及 事業 [国立大学法人東京大学]	H31-R2	10,974	1号 ホ 研究開発
85	東京大会における意図的異物混入対策事業 [公立大学法人奈良県立医科大学]	H31-R2	30,875	1号 イ 経営支援
86	牛の飼養衛生オントロジー構築事業 [国立大学法人広島大学]	H31-R3	28,870	1号 ホ 研究開発
87	国産豚肉生産性・品質向上のための緊急調査事業 [(公社)日本食肉格付協会]	R元-R3	37,421	1号 イ 経営支援
88	飼料生産におけるツマジロクサヨトウ対策事業 [国立大学法人宮崎大学]	R元-R2	38,863	1号 イ 経営支援
1-(2). 公益目的事業 (公1 畜産振興事業) 継続事業 計		交付 88件	2,044,294千円	
1. 公益目的事業 (公1 畜産振興事業) 1-(1)~(2) 令和2年度助成交付金 小計		交付 147件	3,610,420千円	

第2 収益事業等のうち、その他の事業

次に掲げる事業について、事業実施要領、法令等に基づき所要の手続きを行うとともに、事業実施計画に基づき下表のとおり助成金を交付した。

1. 軽種馬生産育成強化対策事業

軽種馬の生産育成経営にかかる経営環境の改善を図るため、低利資金を融通する融資機関に対し利子補給を行う事業の実施主体である公益社団法人日本軽種馬協会及び公益社団法人競走馬育成協会に助成金を交付した。

(単位：年度、千円)

No	事業名 [実施主体]	事業 期間	令和2年度 交付額	定款4条1 項の分類
他 1	軽種馬生産育成強化対策事業 [(公社)日本軽種馬協会、(公社)競走馬育成協会]	H3～	32,120	1号 千 馬産振興

第3 理事会等に関する事項

1. 理事会

理事会を次のとおり開催し、それぞれ記載の案件が審議のうえ、議決された。

第1回 令和2年2月26日

第1号議案 2019年度事業概況報告(案)及び2019年度収支決算(案)について

第2号議案 公益財団法人全国競馬・畜産振興会役員及び評議員の報酬等並びに費用の支給に関する規程の一部改正(案)について

第3号議案 公益財団法人全国競馬・畜産振興会定款第28条に定める役員の報酬等の総額の改正(案)について

第4号議案 理事の候補者の推薦(案)について

第5号議案 令和2年度第1回評議員会の招集(案)について

第2回 令和2年3月19日(書面による意思表示)

第1号議案 会長の互選について

第3回 令和2年4月13日(書面による意思表示)

第1号議案 令和2年度事業計画の変更(案)について

第2号議案 令和2年度第2回評議員会の招集(案)について

第4回 令和2年6月12日

第1号議案 公益財団法人全国競馬・畜産振興会職員給与規程の一部改正(案)について

報告事項 職務の執行状況報告について

第5回 令和2年11月18日

第1号議案 令和3年度事業計画(案)及び令和3年度収支予算(案)について

第2号議案 公益財団法人全国競馬・畜産振興会役員及び評議員の報酬等並びに費用の支給に関する規程の一部改正(案)について

第3号議案 令和2年度第3回評議員会の招集(案)について

報告事項1 職務の執行状況報告について

報告事項2 監事監査(期中)について

2. 評議員会

評議員会を次のとおり開催し、それぞれ記載の案件が審議のうえ、議決された。

- 第1回 令和2年3月10日（書面による意思表示）
- 報告事項 2019年度事業概況報告について
 - 第1号議案 2019年度収支決算（案）について
 - 第2号議案 公益財団法人全国競馬・畜産振興会役員及び評議員の報酬等並びに費用の支給に関する規程の一部改正(案)について
 - 第3号議案 公益財団法人全国競馬・畜産振興会定款第28条に定める役員の報酬等の総額の改正（案）について
 - 第4号議案 理事の選任について

- 第2回 令和2年4月21日（書面による意思表示）
- 第1号議案 令和2年度事業計画の変更（案）について

- 第3回 令和2年12月1日
- 第1号議案 令和3年度事業計画（案）及び令和3年度収支予算（案）について
 - 第2号議案 公益財団法人全国競馬・畜産振興会役員及び評議員の報酬等並びに費用の支給に関する規程の一部改正(案)について
 - 報告事項 監事監査（期中）について

Ⅲ 附属明細書の省略

この事業概況報告書には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当する項目はないため、省略した。